

## 折板（折半）屋根を表現する方法

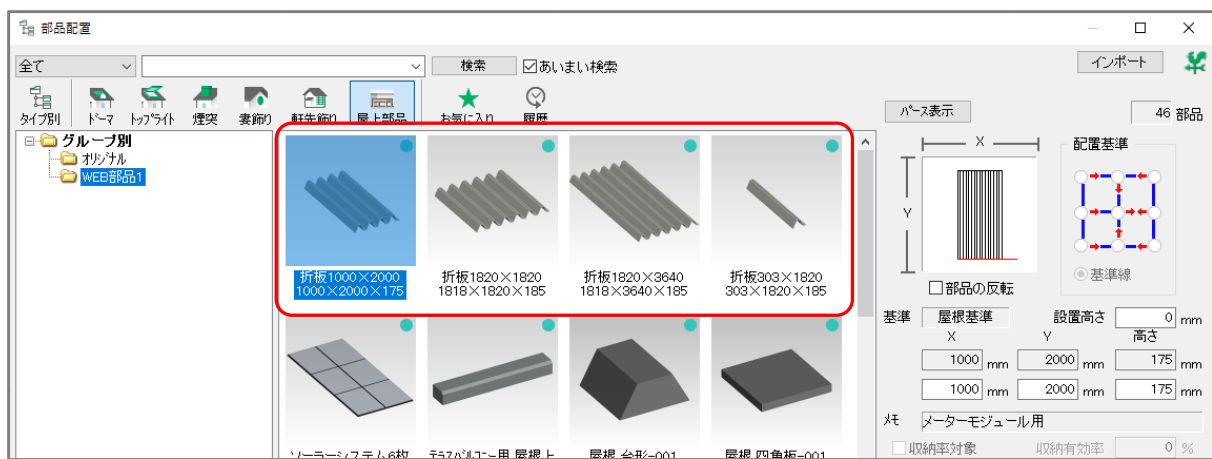
文書管理番号：1234-01

### Q. 質問

折板（折半）屋根を入力したい。

### A. 回答

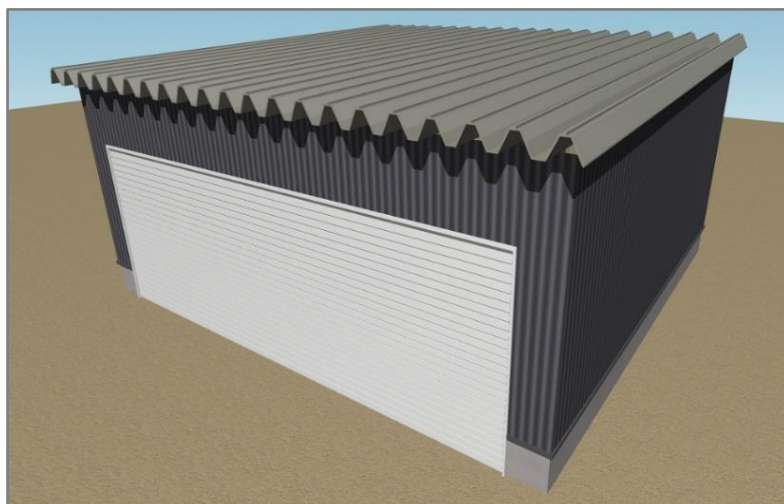
折板（折半）屋根は、屋根伏図で屋根の上に屋根部品の「折板」の部品を配置して表現します。



#### 【注意】

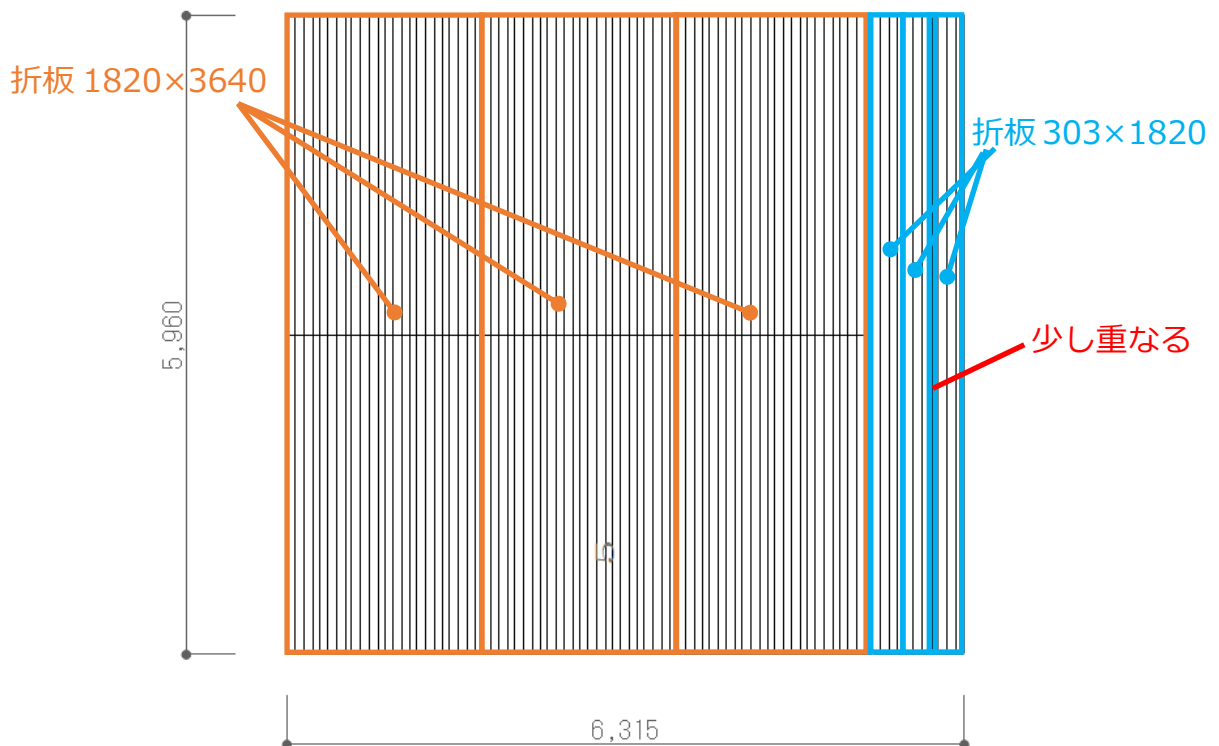
WEB 部品は、サポート会員の方のみご利用いただけます。

ここでは、図のような折板（折半）屋根を表現する方法を説明します。



## 操作手順

屋根伏図で片流れ屋根を配置し、その上に (屋根部品) ⇒ (屋上部品) ⇒ 「WEB 部品 1」にある「折板 1820×3640」を3つ、「折板 303×1820」を3つ並べて配置します。



屋根伏図で片流れ屋根を入力後の操作から説明します。

屋根の上に折板の部品を配置するため、片流れ屋根の軒先厚、屋根厚は薄く設定します。

面設定

GL基準  mm

軒基準  mm

勾配  /100

追加(A)... 変更(C)... 削除(D)

屋根属性

軒先厚  mm

屋根厚 (A+B+C+D)  mm

A: 仕上厚  mm

B: 野地板厚  mm

C: 他下地厚合計  mm

詳細設定(S)...

D: 垂木高さ  mm

大屋根

OK キャンセル ヘルプ(H)

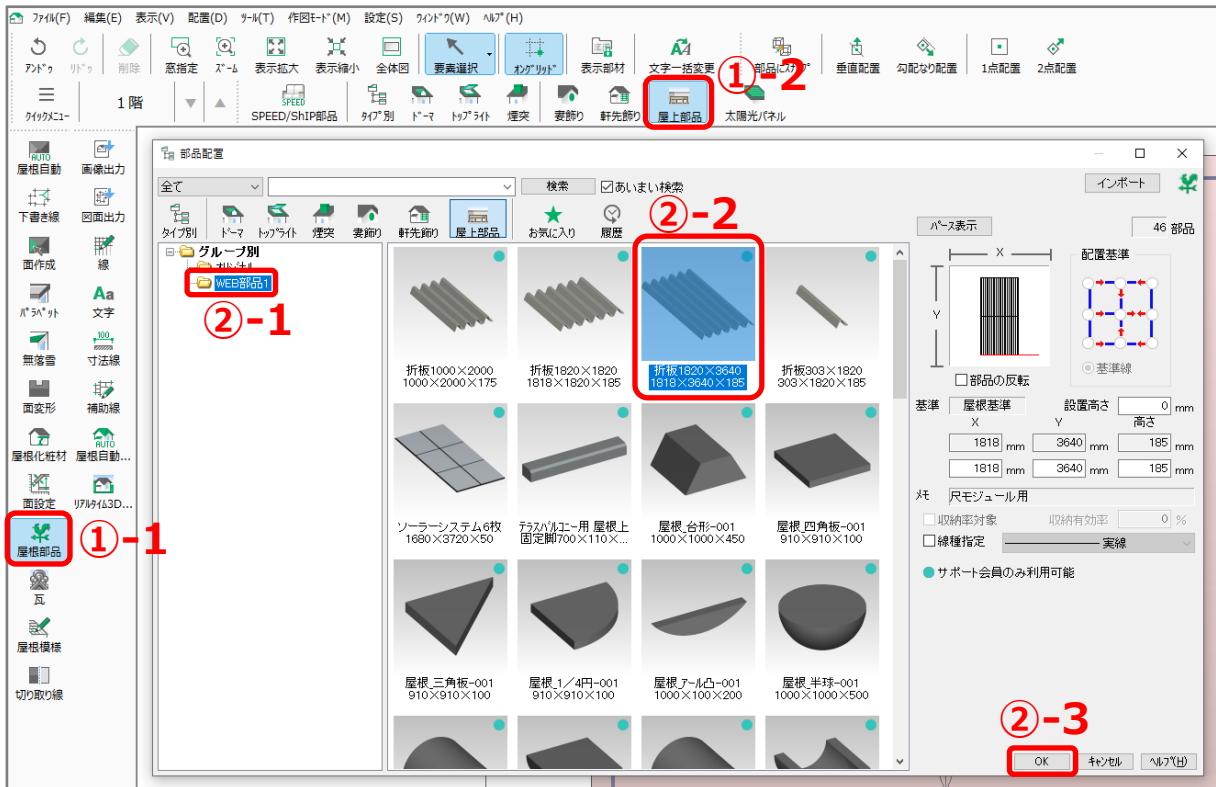
\* ここでは、軒先厚「5」mm、仕上厚「1」mm、野地板厚「1」mm、垂木高さ「1」mm に設定します。

- ① (屋根部品)をクリックし、 (屋上部品)をクリック

\* 部品配置の画面が表示されます。

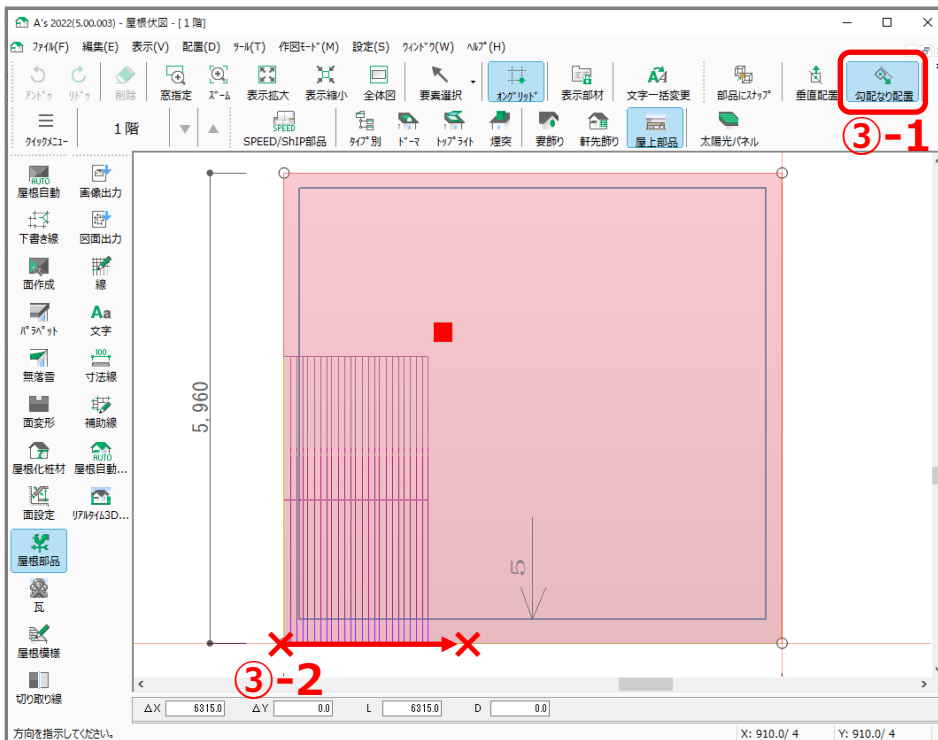
- ② 「WEB 部品 1」⇒「折板 1820×3640」を選択し、「OK」をクリック

\* ここでは、「折板 1820×3640」を選択しましたが、屋根の大きさにあわせて 4 種類の折板部品から選択してください。



- ③ (勾配なり配置)が押されていることを確認し、屋根の左下の角でクリックしてマウスを右方向に移動させクリック

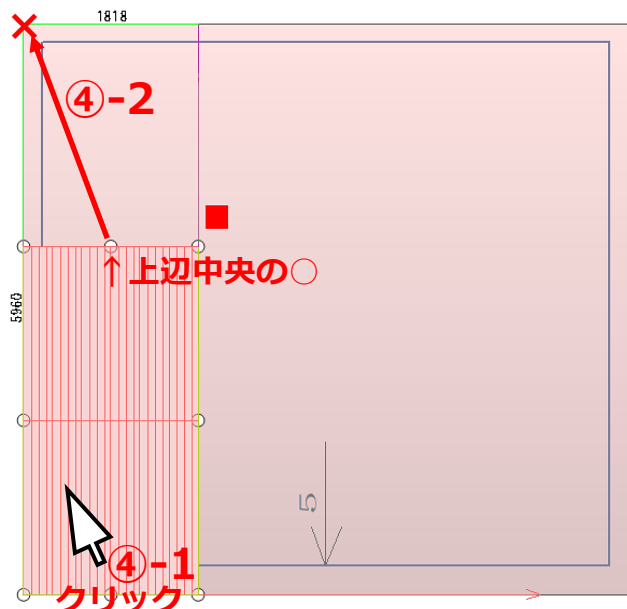
\* [Shift]キーを押しながら方向をクリックすると、水平に配置できます。



\* 折板部品が配置されます。

- ④ 配置した折板部品を (要素選択)で選択し、折板部品の上辺中央の○を屋根の左上の角までドラッグ

\* ドラッグした位置まで部品が伸縮します。  
 \* 部品の各辺中央の○をドラッグすると、サイズのX、Yのみ変わり、高さ(厚み)は維持されます。



- ⑤ (要素選択)で配置済みの折板部品をクリック後、右クリックし、部品のスマートメニューから折板部品のサイズYを確認

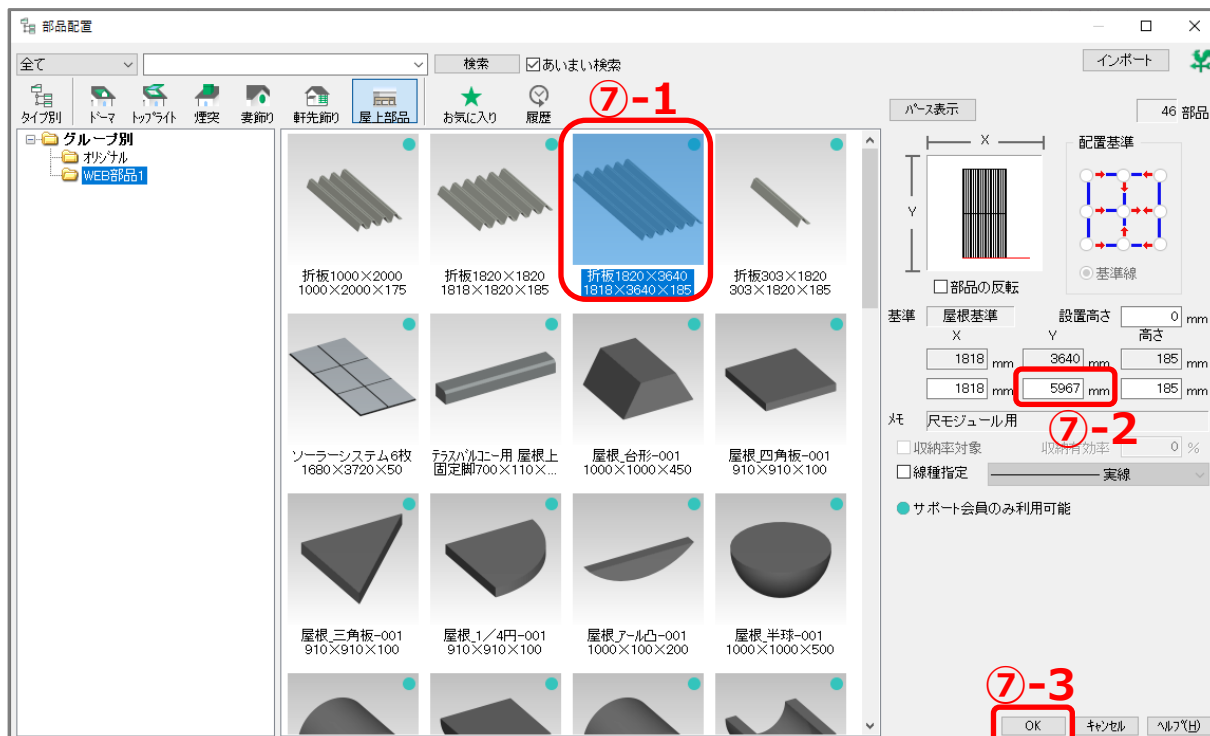
\* ここでは、サイズYが「5967」であることを確認できます。



屋根勾配を考慮したサイズとなるため、屋根の水平投影長さとは異なります。

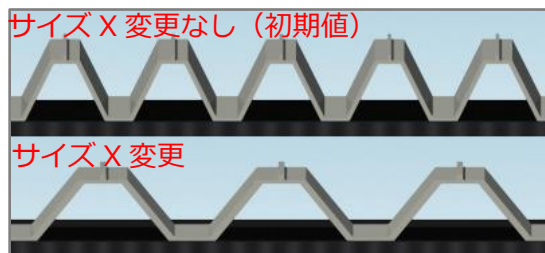
- ⑥ (屋上部品)をクリック  
 \* 部品配置の画面が表示されます。

- ⑦ 「折板 1820×3640」を選択し、サイズ Y を「5967」mm に設定し「OK」をクリック



**【注意】**

部品サイズの X を変更すると折板部品の凹凸の幅が変わるため、なるべく X は変更せずに、幅の狭い折板部品を追加するなどして幅の調整を行ってください。



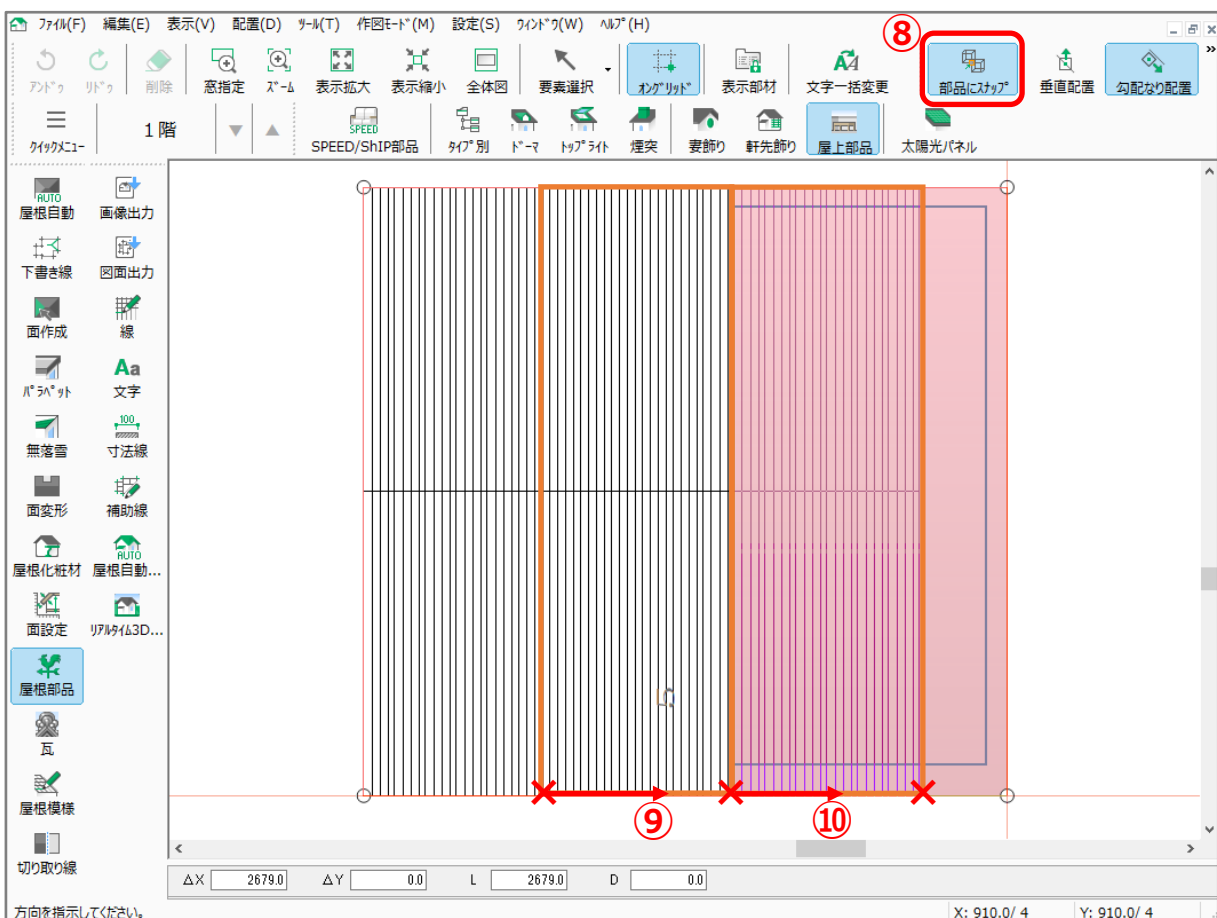
⑧ (部品にスナップ)をクリック

- \* 既に (部品にスナップ)が押されている場合、クリックは不要です。
- \* (部品にスナップ)を ON にすると、配置済みの部品がマウスの検索範囲内にある場合、その部品の端点にスナップさせて配置できます。

⑨ P.4 操作④で配置した折板部品の右下の角でクリックし、マウスを右方向に移動させクリック

- \* [Shift]キーを押しながら方向をクリックすると、水平に配置できます。
- \* 操作④で配置した折板部品の横に、Yのサイズが 5967mm の折板部品が配置されました。

⑩ 同様の手順で、操作⑨で配置した折板部品の横にもう一つ折板部品を配置

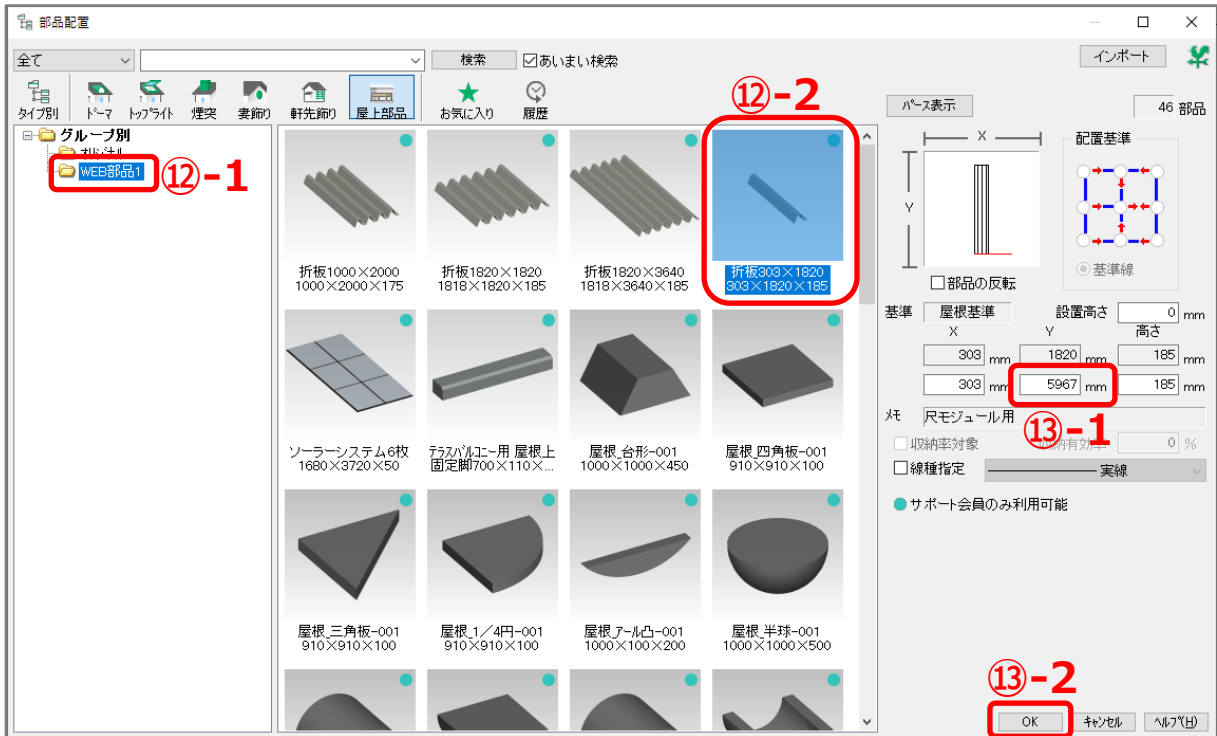


- \* 折板部品が配置され、「折板 1820×3640」が 3つ並びます。

⑪ 右クリック

- \* 部品配置の画面が表示されます。

⑫ 「WEB 部品 1」 ⇒ 「折板 303×1820」 を選択



⑬ 部品サイズの Y の値を変更し「OK」をクリック

- \* サイズ Y を「5967」mm に設定します。

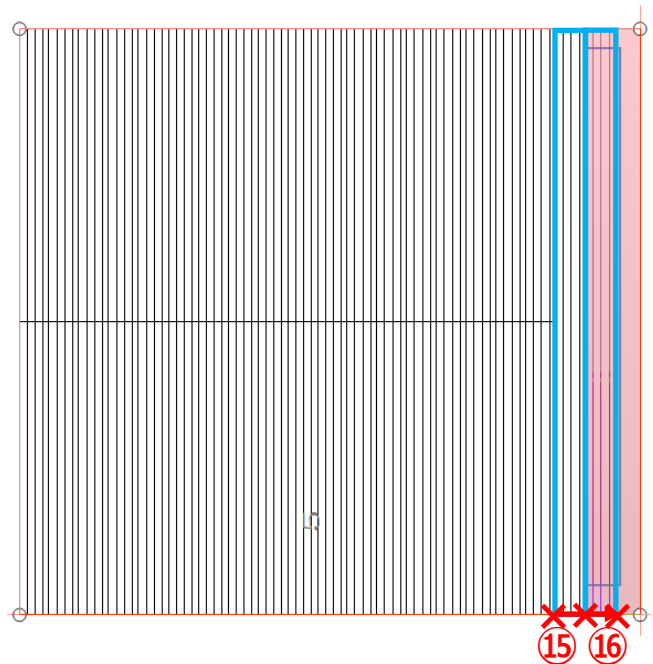
⑭ (部品にスナップ) が押されていることを確認

⑮ P.6 操作⑩で配置した折板部品の右下の角でクリックし、マウスを右方向に移動させクリック

- \* [Shift]キーを押しながら方向をクリックすると、水平に配置できます。
- \* 「折板 303×1820」が配置されます。

⑯ 同様の手順で、操作⑮で配置した折板部品の横にもう一つ折板部品を配置

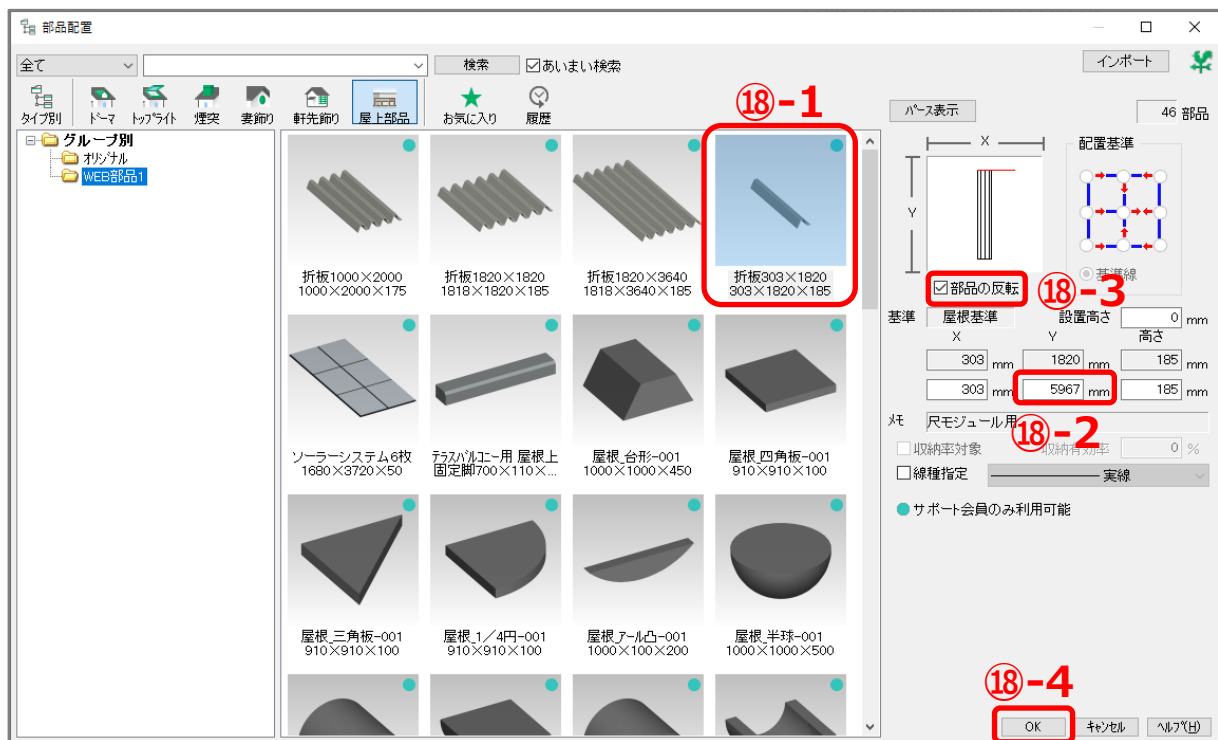
- \* 折板部品が配置され、「折板 303×1820」が 2 つ並びます。



⑰ 右クリック

- \* 部品配置の画面が表示されます。

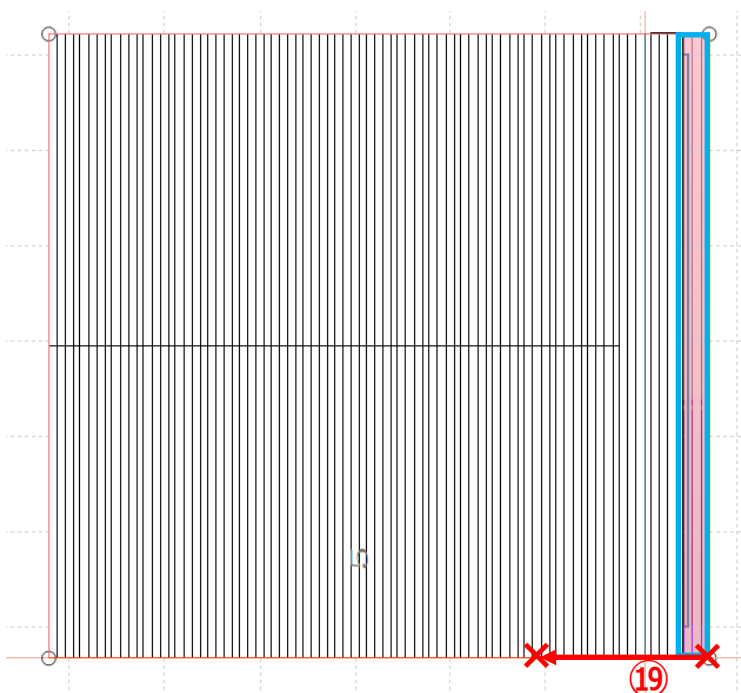
- ⑱ 「折板 303×1820」が選択されており、部品サイズのYが「5967」mmであることを確認し、「部品の反転」にチェックを入れて「OK」をクリック




- \* 最後の折板部品は、屋根からはみ出さないよう、屋根の右下の角から配置します。  
配置方向が逆になるため、「部品の反転」にチェックをつけます。

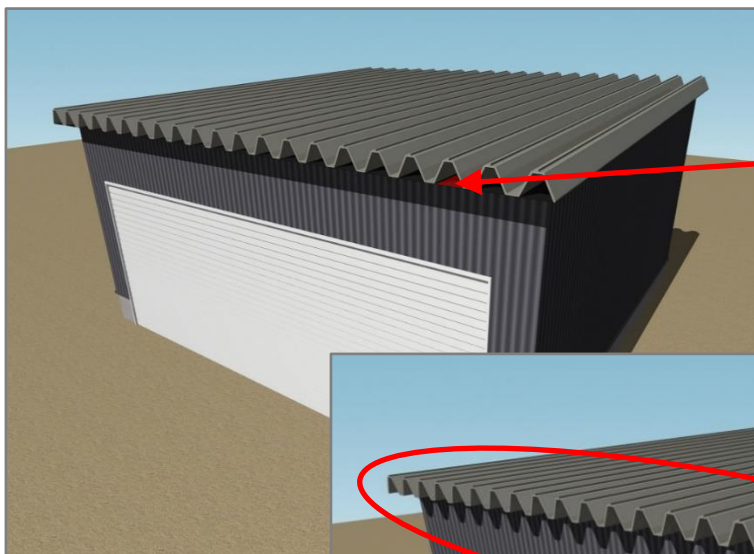
- ⑲ 屋根の右下の角でクリックし、マウスを左方向に移動させクリック

- \* [Shift]キーを押しながら方向クリックすると、水平に配置できます。
- \* 折板（折半）屋根が配置されます。





⑳  (3D パース)で確認



折板部品の下の屋根面を非表示にすると、屋根面で遮られていた折板部品の影が表示されます。

